

「まちを楽しむ多彩な交通」の取組状況について（報告）

1 趣 旨

都心臨海部において、移動自体が楽しく感じられるような多彩な交通サービスの導入に向け、平成 29 年度に公募を実施した「まちを楽しむ多彩な交通」について、今年 5 月までに、提案を頂いた民間事業者等の皆様と連携協定を締結し、提案内容をまとめたリーフレットを作成・公表しました。

現在、公民連携による検討を進めていますので、取組状況についてご報告します。

2 これまでの経過

平成 29 年 10 月～12 月：公募期間

平成 30 年 1 月：評価委員会

平成 30 年 2 月：公募選定結果の通知・公表

平成 30 年 5 月：包括連携協定の締結、提案内容をまとめたリーフレットの作成・公表

3 現在の取組状況

（1）河川や港を活用した「水上交通」

＜河川＞

- ・石川町駅周辺の中村川・堀川において、河川管理者の神奈川県による新たな河川栈橋の整備に向け調整を進めており、新たな栈橋の活用に向けた検討を進めています。

＜港湾＞

- ・海上交通ネットワークの更なる拡充に向け、新たな航路の実現を見据えた栈橋の有効活用など、運航事業者等と連携して取り組む仕組みづくりの検討を進めます。
- ・他都市を含めたイベント開催地間を結ぶ船の運航を通じた、新たな水上交通の可能性の検討を進めています。

（2）A I や水素などの新エネルギー等による「新たな交通サービス」

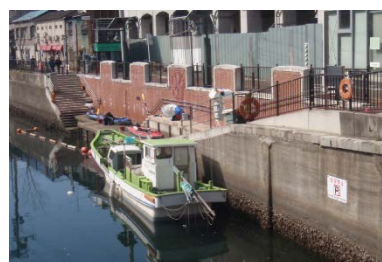
＜A I 運行バス＞

- ・みなとみらい 21 地区及び関内地区を中心に、31 か所に設けた乗降箇所を自由に行き来することができる、オンデマンド型乗合交通「A I 運行バス」の実証実験を、10 月から 12 月に かけて実施しました。

今後、本格的な導入に向けた検証を行うとともに、商業施設とのサービス面での連携等も含め、将来の新たな交通体系の構築に向けた検討を進めます。

＜水素を活用した取組＞

- ・水素を燃料とする燃料電池バスの導入に向けた検討を進めています。



燃料電池バス「SOLA」
出典：TOYOTA ホームページ

（3）高度化バスシステムの「広告付きバス停留所上屋」

- ・2020 年の運行開始を予定する高度化バスシステムの停留所に設置する「広告付き上屋」の実現に向け、検討を進めています。
- ・横浜駅東口の乗降機能の検討や、高度化バスシステムの導入を踏まえた既存バスネットワークの再編の検討を進めています。



（4）水際エリアにおける「ロープウェイ」

＜桜木町駅～新港ふ頭＞

- ・詳細ルートの検討や周辺の景観との調和、ロープウェイの整備と合わせたまちの賑わい創出等について検討を進めるとともに、予定ルートにおける管理者等の関係者と事前調整を進めています。

＜横浜駅～山下ふ頭＞

- ・運行ルートなど、実現可能性について基礎調査を進めています。



（5）都心臨海部などを回遊する「オープントップバス」・羽田空港とのアクセス強化に向けた「シャトルバス」

＜オープントップバス＞

- ・訪日外国人を含めた多くの来街者が、都心臨海部を回遊しながら景観を楽しめる交通サービスとして、運行の実現に向けルート等の調整を進めています。



＜羽田空港とのシャトルバス＞

- ・羽田空港との連携強化や来街者の利便性向上に向け、都心臨海部における開発の進捗を踏まえながら、ルート等の検討を進めています。



（6）客船寄港時の取組

＜歓迎ムード創出に向けた取組＞

- ・店頭にウェルカムボードを設置するなど飲食店等の協力を得ながら、クルーズ客船等のお客様を積極的に歓迎する取組の検討を、文化観光局と連携して進めます。

＜客船シャトルバスの拡充＞

- ・客船ターミナルと主要駅を結ぶシャトルバスの拡充に向け、港湾局及び交通局と連携して検討を進めています。



4 今後の進め方

世界中の注目が集まる「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会」「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催を契機に、国内外から多くの人が訪れる機会を捉え、引き続き実現可能性を適切に見極めながら公民連携による取組を進めます。検討熟度が高まり実施が決まった提案については順次公表するとともに、長期的な検討が必要な提案については継続的に検討を進めます。